



なごや福祉用具プラザ 介護ロボット普及モデル事業 への取り組み

「腰痛予防のロボットスーツ」を検証しました

重いものを持ち上げたり
中腰の姿勢を長く続ける場合などの
腰への負担を軽減するロボットスーツを
介護の現場で使っていただき、
実際に腰への負担が減るのかを検証しました。
また、ロボットの導入や使っていく上での
問題点や課題を探りました。

CYBERDYNE 株式会社
移乗介助(装着型)
「HAL®介護支援用
(腰タイプ)」



●どんなロボット?

人が身体を動かすときに脳から発せられる信号を検知し、動きを補助します。医学的解剖学的観点から身体の動きを解析し、腰への負担を減らします。防水機能も搭載されており、入浴介助もできるようになっています。



●実際に使ってどうだった?

脳から信号を読み取るために電極の付いたシールを身体に貼って使いますが、そのシールの貼り方にコツが必要なことや、使用する人によっては肌荒れやはがれやすい場合もあり、いずれにしても機器に慣れることが大事だとわかりました。腰への負担の軽減は、機器の動きを理解して上手に使えるようになった人とそうでない人の差が大きいものの、総じて軽減されるとわかりました。機器を使うことで、介助における身体の使い方を理解することがとても重要だとわかりました。



詳細は裏面を
ご覧ください



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
なごや福祉用具プラザ
〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1
御器所ステーションビル3F
※地下鉄「御器所」2番出口徒歩1分

TEL(052)851-0051
FAX(052)851-0056
●営業時間/AM10:00~PM6:00
●営業日/火曜日~日曜日
●休業日/月曜日・祝休日・年末年始
<http://www.nagoya-rehab.or.jp>



